

那須町水道ビジョン・経営戦略【概要版】

■ 那須町水道ビジョン・経営戦略の策定の背景と位置付け

本町の水道は、昭和3年に湯本地区に給水を開始して以来90年以上が経過し、町民にとって必要不可欠な都市基盤の一つとして町の発展に貢献してきました。

しかし、近年頻発している自然災害への対策や水道事業を取り巻く社会・経済情勢の変化など、取り組むべき課題が多くあります。それに加えて水道施設の老朽化に伴う施設の更新が急務であり、施設整備に必要な費用は年々増加しています。

このような水道事業の課題を踏まえて、将来像の設定とこれを達成するために必要な方向性および具体的施策を示すことを目的としています。

なお、計画期間は令和7年度から16年度までの10年間です。

水道ビジョン・経営戦略の位置付けと水道事業の目標



■ 給水人口と水需要の減少

行政区域内人口の減少とともに給水人口(水道利用者数)は年々減少していく見込みです。

それに伴い、一日平均給水量(年間給水量を日数で除した値)も年々減少傾向にあると見込んでいます。

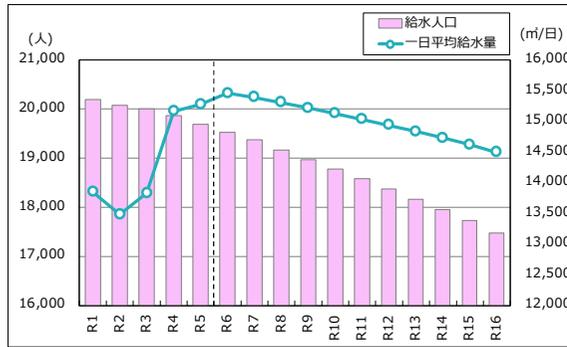
給水人口

R5 19,687(人) (実績値)
→R16 17,475(人)

一日平均給水量

R5 15,275(m³/日) (実績値)
→R16 14,493(m³/日)

給水人口と水需要の推移

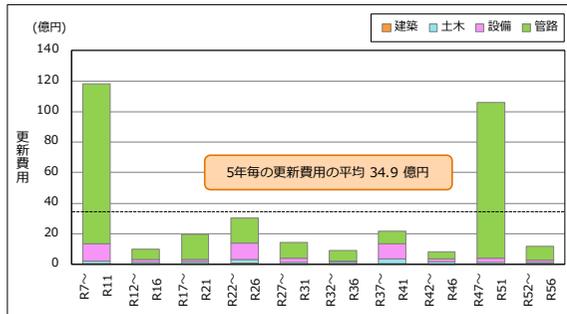


■ 更新需要の増大

建築などの施設、電気などの設備や管路類はその建設や布設から数十年が経過しており、更新時期を迎えている資産が多くあります。老朽化資産が増加することで更新費用も同様に増加していきます。

更新費用 1年あたり 34.9億円

法定耐用年数で更新する場合の更新需要



■ 将来像の実現に向けた目標実現のための施策体系

| | | |
|---------------------|-------------------|---|
| いつまでも皆様の近くにありつづける水道 | 水道の安定供給 | ①水道施設の整備、水道水源の確保 |
| | 施設の老朽化対策と維持管理の向上 | ①計画的な管路更新 ②水道施設の維持管理の推進 |
| | 運営基盤の強化 | ①民間委託等の活用 ②水道事業の経営状況に関する情報発信 ③施設規模の適正化と工事の効率化 |
| | サービスの向上 | ①水道にかかる各種の情報発信 ②小中学生に対する水道事業のPR |
| | 技術の継承 | ①課内の技術情報の整理 ②若手技術者の研修 |
| | 環境対策の推進 | ①省エネを推進した設備の更新や計画 |
| いつ飲んでも安全な信頼される水道 | 広域的な連携の推進 | ①将来に向けた広域的な連携形態 |
| | 快適な水の供給 | ①水道施設等の問題解消 ②水道水質に対する情報発信 |
| | 安全な水の供給 | ①定期的な水道水源の巡視 ②水道管理体制の徹底 ③水道汚染のリスクへの対策 |
| | 貯水槽水道・飲用井戸の水質管理向上 | ①貯水槽水道の衛生管理 ②水道の加入促進 |
| 災害に強く、たくましい水道 | 給水装置の安全性の向上 | ①経年給水管の更新 ②指定給水装置業者のレベルアップ |
| | 災害に強い水道の整備 | ①行動マニュアルの作成 ②応急復旧・応急給水体制の構築 ③資機材・薬品の計画的な備蓄 ④耐震化計画の策定 |
| | 災害時における連携強化 | ①応援協定等の締結 ②耐震化に関する取組についての情報発信 ③災害時における連携 |

■ 経営の見通し

更新対象資産の重要度・優先度の検討に加えて、実績の事業費に倣い1年あたりの事業費を約3億円と見込みます。また、今後はさらに老朽化資産が増加し更新需要が切迫することから、事業費に6千万円の増額を5年毎に見込みます。

■ 財政計画

収益的収支については、水需要減少に伴う水道料金収入の減少や減価償却費等、今後も厳しい財政状況が続く見込みです。

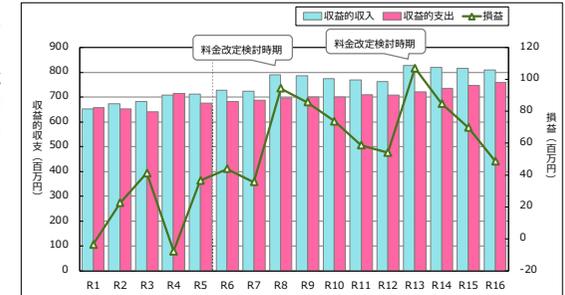
資本的収支については、老朽化施設や老朽化管路の更新等により今後も支出が増加します。企業債は、将来的な費用負担を考慮しつつ借入額を調整します。

また、健全な事業運営のために定期的な水道料金の改定および適正化が必要とされますが、引き続き経営努力を行うことで料金改定率増加の抑制に努めます。

■ 進捗管理

PDCAサイクルを継続することで水道ビジョンで掲げた理想像を実現します。

収益的収支と損益の見通し



資本的収支と内部留保資金の見通し

